

年間授業計画

東京都立東高等学校 令和5年度 年間授業計画 ( 2 学年 )

教科 : 芸術科 科目 : 美術Ⅱ

対象学年組 : 2年1~6組

教科担当者 : 人見崇子、畑林和貴

使用教科書 : 美術2 光村図書

教科の目標 :

【知識および技能】

芸術性の基礎を生かした技術の習得を目指し、素材の研究や芸術への知識を高める。

【思考力、判断力、表現力等】

基礎を生かした美的感覚や思考力、判断力を養い、より豊かな表現を目指す。

【学びに向かう力、人間性等】

芸術に関する豊かな表現方法を理解し、試行錯誤を重ねて完成させていく大切さを学ぶ。

科目の目標

【知識および技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
画材の特性、素材の特質を生かした表現技法を目指す。	高校生らしい思考、判断力を生かし美的感覚の向上を目指す。課題完成までの制作計画、工程を理解し芸術性を高めることを目指す。	芸術表現を高め、密度のある完成を計画的に取り組むようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価基準	①知	②思	③態	配当時間	
		絵・彫	デ	映							
1 学期	年間カリキュラム 画材の確認 課題説明。実際の商品や作例を鑑賞し、商業デザインの意義を学び、考案することを目指す。 効果的な構成・構図や表現を目指す。 ドリンクラベルの描き方、立体物の描き方を習得する。 瓶素材・液体の表現方法、透明・不透明の描き方の習得を目指す。	年間カリキュラム 画材の確認 デザイン 「空想のドリンク・ラベルデザイン」		○		○	①モチーフの材質を理解して描けたか。想定課題を理解して透明・不透明を描いているか。レタリング文字を立体的に描く技術はできているか。 ②図案に工夫があり、デザインを生かした表現ができたか。液体の描き方、表現はできているか。 ③完成までの制作過程を理解していたか。表現は豊かであるか。加色、修正などをして、作品化できたか。	○	○	○	14
	課題説明。 画材・紙素材を生かした表現技法の習得を目指す。 白黒の効果を生かしたモチーフ選びと構図を目指す。 練習プリントでの線描画技法を学ぶ。 作例を通じて、線描画の魅力を理解し表現豊かに描くことを目指す。	絵画 「ペン画を描こう」		○		○	①練習プリントにより、線描画の技術を理解したか。白黒のコントラスト調整はできているか。 ②構図への工夫、アイデアは豊かであるか。線の密度があり、強弱の表現は理解されていたか。 ③完成までの制作過程を理解し制作は進められたか。ペン画の表現を理解し丁寧に作品化できたか。	○	○	○	12
2 学期	課題説明。 画材・紙素材を生かした表現技法の習得を目指す。 作例を通じて、画面構成の工夫・画材を生かした表現や魅力を理解し豊かに描くことを目指す。 アイデア用紙の校正を繰り返し、内容の起承転結を意識させ、強弱のある作品構成を目指す。	絵画・デザイン 「絵本を作ろう」		○		○	①アイデア用紙の下描きを丁寧に仕上げていたか。画面構成を考え、起承転結や見せ場があるか。 ②下描きでは、画材を生かした表現を試みて、1学年からの学習は生かされていたか。 ③作例の鑑賞により、見直し修正や描き加え、変更などを的確に判断し、より豊かな作品化を目指したか。	○	○	○	8
	オリジナルの内容を考案し、思考力を高めることを目指す。 全体を構成することで総合的な創造力や構成力の育成を目指す。 鑑賞により、表現の多様性を発見し、応用力を高めさせる。 製本技術を理解し習得させる。 紙素材の特質や技術を理解し体験させる。	絵画・デザイン 「絵本を作ろう」		○		○	①本描きでは、ペン画やイラストレーションの技術を生かした着彩ができたか。紙質素材を理解して描けたか。レタリング文字を応用できたか。 ②文書構成と作画表現が工夫されていたか。画材を理解して着彩表現をしていたか。 ③作品の完成を意識し、画材や構成を生かした作品化を目指したか。製本工程を理解して丁寧に仕上げたか。	○	○	○	20

3 学 期	<p>板材から作品の完成までを意識して、総合的な空間への美意識・構成力を高めるよう目指す。身近な素材を利用し、アイデアによりアートに変化する過程を見て表現の可能性を高める。</p>	<p>立体造形・デザイン・絵画 「BOXアート」</p>				<p>①空間把握、板材素材の知識を理解したか。接着技術を理解できたか。作業工程を理解して作品化を目指したか。 ②素材や制作技術を総合的に把握し空間表現を試みているか。立体素材や平面構成の表現を理解しているか。透視図法、拡大図などの表現方法を取り入れ、空間を演出できたか。 ③作例を鑑賞して、具体的な工程を理解して制作に取り組めたか。制作時間を考え、作業工程を把握して作品化を目指せたか。総合的に芸術性を高めるよう取り組んだか。</p>				16
	<p>作品鑑賞により、空間デザインの可能性・探求心・面白さを味わえるようにする。透視図法やパース、拡大図などの技法を理解し、奥行への意識を高める。</p>		○	○	○		○	○	○	
<b>合計</b>									70	